

事業 1	方針等 区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成25年度			
	事業名	企業と大学等との就職に関する情報 交換の促進		予算額	218千円		
				決算額	136千円		
	事業概要	県内外の大学等(短大・専門学校 を含む)と市内の事業所が、採用情 報等について情報交換を行う場を設 け地域の産業の人材確保に向けた支 援を促進します。		取 組 状 況 H25.9.1 現在	■日程 平成26年1月28日(火) ■会場 グランシップ ■対象 企業の人事担当者と県内外の大学・短大・専門学校の就 職指導者 ■その他の予定 10月 公共職業安定所(静岡・清水)と商工会議所の担当者打 合せ 11月 企業、大学へ交流会参加依頼の通知(予定1,000件) 12月 参加企業、大学の確定、プロフィール作成依頼 1月 参加企業、大学へ資料送付 (予定企業数80社、大学数70校) 1月 交流会実施 2月 アンケート実施及び来年度に向けた検討 ■予算額 講師謝金60,000円、茶菓代40,000円、 看板代・会場設営・撤去費62,000円、 会場借上料等56,000円		
		補 足 事 項	大学3年生の就職活動のスタ ートが12月となったことによ り、静岡県では11月、本市で は1月に本交流会を開催する。 就職活動開始前後に開催するこ とで、ニーズの異なる企業、大 学等の参加が見込まれる。		進 捗 率 H25.9.1 現在		
			H26.3.31 現在	(参加大学等) H24 / 42校 H25 / 60校 計 / 102校 (参加企業等) H24 / 53校 H25 / 56社 計 / 109校	(参加大学等) 56.7 (%) (参加企業等) 45.4		
	成果目標	参加者 大学等 180校/3年 企業等 240社/3年		事業結果 ■目 的 学生と企業の「就職・雇用のミスマッチ」を解消するため大学 等の就職指導者と企業の人事担当者との情報交換・意見交換を実 施することにより、平成27年3月卒業の学生の就職促進を図る。 ■日 時 平成26年1月28日(火)午後2時から午後4時半まで ■会 場 グランシップ ■参加者 ①県内外の大学・短大・専門学校の就職指導者 60校78人 ②静岡市内に所在する企業の人事担当者 56社80人 ■内 容 大学等の就職指導者と企業の人事担当者のそれぞれのブースを 設け、互いに訪問することによる情報交換と意見交換を実施した。			
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政 策 方 針	5 すぐれた能力と意欲ある人材 の育成・支援				
		大 施 策	(2) 意欲ある人材の地域における 就業支援				
		中 施 策	①企業と人材のマッチング				
産業振興 プランの 位置付け	基 本 方 向	4 チャレンジ精神に富む人材・ 企業の輩出、育成					
	基 本 方 針	(4) 次代を担う人づくり					
	基 本 施 策	②職業人としての意識・能力の涵養					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策担当		そ の 他 (特記事項)	公共職業安定所(ハローワーク静岡・清水)及び静岡商工会議 所と共催する事業である。			

事業 2	方針等 区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成25年度			
	事業名	(仮) 経営者と大学生の縁結び事業 の推進		予算額	1,200千円		
				決算額	735千円		
	事業概要	優秀な人材を確保するために、経営者等が大学3年生等に直接、地域の産業の魅力伝える就職支援策を推進します。		取組 状況	H25.9.1 現在	1 対象 ①静岡市内の特色ある産業・業界の中小企業経営者等 ②地元企業への就職に興味のある大学生及びその親等 2 内容 地元企業の経営者等と就職活動を控えた大学生との意見交換を通じて、業界の理解と地域企業の人材確保を図る。 3 実施期間 7月～12月 4 予算額 委託料735,000円 5 取組状況 ・夏休み期間に3回実施。 ■企業と学生の縁結び事業 □第1回(7月27日) テーマ:豊かな自然を活かした多様で多彩な"食"産業 参加者:企業5社、学生33人 □第2回(8月10日) テーマ:キラリと光る"ものづくり"企業① 参加者:企業5社、学生29人 □第3回(8月31日) テーマ:キラリと光る"ものづくり"企業② 参加者:企業5社、学生27人	
		補足事項	市内の中小企業経営者や人事担当者や大学生等が情報交換するセミナーを年3回開催する。 ・参加企業 3社×3 ・参加学生(定員)40人×3			進捗率	H25.9.1 現在 (参加者数) H25 / 89人 (参加者数) 63.6(%)
	成果目標	参加者 360人/3年		事業 評価	■企業と学生の縁結び事業 □第1回(7月27日) テーマ:豊かな自然を活かした多様で多彩な"食"産業 参加者:企業5社、学生33人 □第2回(8月10日) テーマ:キラリと光る"ものづくり"企業① 参加者:企業5社、学生29人 □第3回(8月31日) テーマ:キラリと光る"ものづくり"企業② 参加者:企業5社、学生27人 □第4回(9月7日) テーマ:静岡の魅力戦略的に発信!"観光"産業 参加者:企業5社、学生32人 ■地元企業に就職した先輩と学生の縁結び事業「教えて先輩」 □第1回(12月11日) テーマ:「信金×銀行!」どう違うの?半沢直樹って実話? 参加者:先輩社員2人、学生18人 □第2回(12月17日) テーマ:あなたの「こだわり」が静岡を変える! 「クリエイター産業」 参加者:先輩社員2人、学生15人		
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業 結果		
		大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援				
		中施策	①企業と人材のマッチング				
	産業振興 プランの 位置付け	基本方針	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成		事業 結果	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	
基本方針		(4) 次代を担う人づくり					
基本方針		②職業人としての意識・能力の涵養					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策担当		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成25年度				
	事業名	定年延長を見越した中高年技術研修の検討		予算額	0千円			
				決算見込額	0千円			
	事業概要	セカンドライフの充実に向けて、中高年技術者等のニーズに基づいた技術や技能の向上に関する研修会開催を検討します。(若年層の育成や中小企業の技術力向上等を含む)		取組状況	H25.9.1 現在	<p>■今後の予定</p> <p>調査により、中高年の定年延長を見越した技術研修については、重要性を認識しつつも、多くの政令指定都市でも施策を実施していくことが難しいことが課題として挙げられた。今後、市内各関連団体との連携を強化し、効果的な支援の検討をしていく。</p> <p>また、市内において中高年が活動している事例を調査し、定年後のセカンドライフの充実に向けた施策の検討をする。</p>		
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在	(参加者数) 0人
	H26.3.31 現在	(参加者数) 0人	0 (%)					
	成果目標	参加者 30人/3年		事業結果	<p>■静岡市内の企業OBによる諸活動</p> <p>○NPO法人マンパワーカフェ</p> <p>当団体は静岡市商工会議所からの受託で「製造現場改善支援事業」を行っており、技術力向上支援では、技術に課題を持つ企業に対して熟練の支援者が現場に出向き技術支援等を行っている。</p> <p>○日立清水理科クラブ</p> <p>子どもたちの理科への関心を高めようと、小学生を対象にものづくり教室や理科授業支援を行っている。会員は日立グループOBでありものづくりに長年携わってきた熟練者の集団である。本活動は未来を拓く児童・生徒の育成に寄与している。</p> <p>■中小企業の技術力向上のニーズについて</p> <p>(清水商工会議所、職業能力開発協会協議)</p> <p>○中小企業の多くは下請け企業であり、開発部等技術力向上のための部署を設けているところは少ない。また、ほとんどが自動制御による生産であり、技術力向上に対する意識が表面的には少ない。市商工会議所の製造現場改善支援事業の実績状況を踏まえると、技術力向上よりも、まずは現場改善や効率化等に関するニーズが高いことが伺えた。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	<p>【事務担当】 記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>	<p>■一般に55歳以上になると子会社に向向して専門性に特化するため、中高年が専門的に特化していくのをどのようにサポートするか。という支援も考えられる。</p> <p>また、中高年技術者はその道で従事してきた方々であるため、新しいことを学ぶのは難しいかもしれない。</p>	
		大施策						
		中施策						
産業振興のプラン位置付け	基本方向		<p>【事業担当】 記載事項</p>	<p>改善点・目標の未達成理由等</p>				
	基本方針							
	基本施策							
所属部会	<p>■技術者養成部会 部会長 実石委員 部会員 松永委員、内海委員 ■事務担当 地場産業担当 藤原主事</p>							
担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 地場産業担当 主事 藤原一仁 (内線) 81-6641</p>							

事業	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成25年度		
	事業名	理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	<p>市内外から優秀な人材を確保し、これらの人材の市内ものづくり産業への就業を促進させる観点から、市内に理工系大学を誘致することなどを検討する。</p> <p>理工系大学等は、新製品や加工技術の研究開発のほか、優れた人材を育成し、市内の中小製造事業所への人材供給機関として、その役割に大きな期待が寄せられる。併せて大学の教授陣と地元就業した卒業生との間における「人的ネットワーク」の形成からは、信頼関係のもとで、製品開発などに新たな事業展開の示唆を含めた支援・相談・共助機関としての役割にも期待が持てる。</p> <p>現在のところ、このような理工系大学等は静岡市になく、今後のものづくり産業（製造業）の振興を図る上では、極めて重要な視点であり、誘致等を検討する必要性から事業化された経緯がある。</p>		取組状況	H25.9.1 現在	
				進捗率	H25.9.1 現在	(%)
					H26.3.31 現在	(%)
	4	成果目標	3年間検討し、関係機関等との協議を含めた報告書を作成		<p>■連携強化協定の締結</p> <p>①経緯 協定の締結にあたっては、産業経済分野の連携を主体としながらも、多様な連携強化の在り方を重視する観点から、本市に立地する各種専門学校等を含む学校法人静岡理工科大学との協定締結となった。</p> <p>②趣旨 本市と学校法人静岡理工科大学とがより緊密な連携のもとで、それぞれの資源や機能等の活用を図りながら、産業経済分野における人材育成及び地域産業の活性化に寄与することを目的とする。</p> <p>③締結日 平成26年3月17日</p> <p>④連携項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティブ産業の振興 ・企業と研究室の活発な研究推進 ・その他 主催事業の相互協力、教育現場等との連携及び支援の検討、大学教員による支援など 	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	事業結果		<p>■最初の第1歩</p> <p>大学の誘致や工学部の新設等には至っていないが、大学の誘致等という長期的な取組みを模索する上においては、第1歩、或いは半歩の成果と言えるのではないか。</p> <p>今後は、大嘗誘致等の検討を進める一方で、連携協定に基づく具体的な成果創出を求め、継続的な取組みを進めてほしい。</p>	
		大施策				
		中施策				
産業振興のプラン位置付け	基本方向	事業評価等		<p>〔事務担当記載項目〕</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>		
	基本方針					
	基本施策					
所属部会	<p>■調査研究部会 部会長 二渡会長 部会員 中村委員、太田委員</p> <p>■事務担当 産業経営担当 佐藤副主幹</p>		<p>〔事業担当記載事項〕</p> <p>■他機関との連携</p> <p>学校法人静岡理工科大学との連携を推進するとともに、地元中小企業のニーズを捉える意味などを含め、静岡商工会議所の製造業部会などとも連携し、大学誘致等の共通認識を持ちながら、事業の進展を図っていきたい。</p>			
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当 副主幹 佐藤征教 (内線) 81-6641</p>		<p>改善点・目標の未達成理由等</p>			

事業 5	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成25年度		
	事業名	人材育成に係る各種講座、セミナー等の開催	予算額	産学交流センター指定管理料115,540千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部		
			決算額	産学交流センター指定管理料115,540千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部		
	事業概要	各産業支援施設において、中小企業の経営者・従業員の人材育成のため、大学や産業界で活躍する専門家の協力を得て、各種講座やセミナーを開催します。	取組状況 H25.9.1 現在	(産学交流センター) ・大学等起業家育成事業：開催校1校(静岡県立農業高校) 開催数1回 受講者数29人(今年度7校予定) ・マーケティング支援講座 開催数5回 受講者数384人 (清水産業・情報プラザ) ・情報化講演会 開催数4回(延べ6日) 受講者数116人		
				補足事項	進捗率等 H26.3.31 現在	(開催回数) H25 / 10回 (開催回数) 78.3 (%) (受講者数) H25 / 529人 (受講者数) 48.6 (%)
	(開催回数) H24 / 37回 (開催回数) 116.7 (%) H25 / 33回 (受講者数) 66.5 (%) 計 / 70回 H24 / 1,658人 H25 / 1,332人 計 / 2,990人					
	成果目標	開催回数 60回/3年 受講者数 4,500人/3年		事業結果	(産学交流センター) ・大学等起業家育成事業：開催校6校 (静岡県立農業高校、静岡県立駿河総合高校、静岡県立科学技術高校、静岡デザイン専門学校(2学科)、静岡福祉大学、静岡常葉学園大学) 開催数12回 受講者数(延べ)151人 ・マーケティング支援講座 開催数13回 受講者数918人 ・マーケティング支援講座以外の講座 開催数2回 受講者数93人 (清水産業・情報プラザ) ・女性のための創業セミナー 開催数1回(全2回) 受講者数28人 ・創業・経営セミナー 開催数1回 受講者数26人 ・情報化講演会 開催数4回(延べ6日) 受講者数116人	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針 IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化 【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援	事業評価		(産学交流センター) ・マーケティング支援セミナーは、講座形式のものだけでなくより実践に近い形式のワークショップ形式のセミナーを増やすほか、地元経営者による講座等も企画し、参加者のニーズに応えるような講座を開催していく。 ・大学等起業家育成事業は、前年度に比べて参加人数が減少したが、開催数の減少と、大学での開催について授業の一部として実施できなかったことによるものである。次年度は、県立大学でも再度実施予定で、他の大学についても授業に組み込めるよう調整していく。さらには、高等学校については、普通高校も対象とし、広く公募していく予定である。 (清水産業・情報プラザ) ・女性のための創業セミナーは、受講者が予定より多かったことから、次年度も引き続き開催していく。 ・情報化講演会は、エクセル等の活用法だけでなく、最新で関心の高いテーマも設定して、引き続き開催していく。	
		大施策 (2) 地域産業の活力強化 【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成			基本方針	次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等
		中施策 ③経営基盤とマーケティング力の強化 【再掲】 ①起業家精神の醸成と起業家の育成 ②経営者・経営幹部の意識改革による経営能力の向上				
産業振興プランの位置付け	基本方向	基本方針	基本施策			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主任主事 佐藤 貴司 (内線) 82-2313		その他(特記事項)			

事業 6	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援	平成25年度				
	事業名	若手後継者の技術習得支援 (伝統工芸技術保存講習会の開催)	予算額	1,871千円			
			決算額	1,629千円			
	事業概要	伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹工芸、木工などの講習会を行います。	取組状況 H25.9.1 現在	<p>■伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹工芸、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。</p> <p>①漆器の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間 平成25年5月7日(火)～9月24日(火)までのうち20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者7人</p> <p>②拭漆の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間 平成25年9月30日(月)～11月25日(月)でのうち7日間 受講生 木工関連業界関係者5人</p> <p>③竹工芸の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(駿河竹工芸) 期間 平成25年9月24日(火)～12月3日(火)までのうち11日間 受講生 竹業界後継者8人</p> <p>④木工指物の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間 平成25年9月5日(木)～12月12日(木)までのうち15日間 受講生 木工家具関連業界関係者8人</p> <p>⑤蒔絵の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間 平成25年10月22日(火)～平成25年3月11日(火)までのうち19日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者9人</p>			
				補足事項	進捗率	H25.9.1 現在	(受講者数) 7人
			H26.3.31 現在	(受講者数) 37人	123.3 (%)		
	成果目標	受講生 30人以上/年 (漆器、蒔絵、木工、竹工芸、拭漆の5部門に関する講座)	事業結果	<p>■伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹工芸、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。</p> <p>①漆器の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間 平成25年5月7日(火)～9月24日(火)までのうち20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者7人</p> <p>②拭漆の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間 平成25年9月30日(月)～11月25日(月)でのうち7日間 受講生 木工関連業界関係者5人</p> <p>③竹工芸の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(駿河竹工芸) 期間 平成25年9月24日(火)～12月3日(火)までのうち11日間 受講生 竹業界後継者8人</p> <p>④木工指物の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間 平成25年9月5日(木)～12月12日(木)までのうち15日間 受講生 木工家具関連業界関係者8人</p> <p>⑤蒔絵の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間 平成25年10月22日(火)～平成25年3月11日(火)までのうち19日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者9人</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針		IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援	<p>■講習会を開くだけでなく、講座で作品ができるのであれば、その作品の展示や販売など、学習成果の活用機会も同時に設定すれば受講者の励みになる。</p>		
		大施策		(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化			
		中施策	①研究開発力の強化				
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	事業評価等	〔事務担当 記載項目〕 所属部会からの意見及び指摘事項			
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	④地域・伝統産業の近代化推進					
所属部会	<p>■技術者養成部会 部会長 実石委員 部会員 松永委員、内海委員 ■事務担当 地場産業担当 望月主査</p>		〔事業担当 記載事項〕 改善点・ 目標の未達成理由等	<p>■若手職人ネットワークの構築 伝統工芸技術保存のための後継者育成に加え、クラフトマンサポート制度で研修中の若手にも参加を呼びかけたことで、竹工芸の部では業界内の若手ネットワークが構築された。また漆器の部では新しい講師により製作品を更新したことで、新規参加の木工従事者と既参加の漆器業界の若手の交流が図られた。</p> <p>■作品展示会の開催 蒔絵の部では前年度の作品展を開催し、参加者の意欲を喚起した。</p>			
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 地場産業担当 副主幹 頭師雅之 (内線) 81-6641</p>						

事業	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成25年度			
	事業名	伝統工芸技術秀士の指定及び顕彰の推進・PR活動の促進		予算額	737千円		
				決算額	0千円		
	事業概要	<p>伝統工芸技術保存と後継者の育成を図るため、本市の伝統産業に長年従事する技術者の中から特に優秀な技術を有し、その伝承と産業の発展に対し功績が顕著である者の指定及び顕彰を推進します。併せてPR活動を促進します。</p>		取組状況	H25.9.1 現在	<p>■伝統工芸技術秀士の指定者の検討 平成24年度に1名を顕彰したが、対象者不足により今年度は指定、顕彰を見送ることに決定。平成25年度は指定者なしとした。</p> <p>■PR活動の実施 伝統工芸技術秀士の作品展示等によるPR活動を行った(東京都内、各区役所、駿府匠宿、駿府楽市等)</p>	
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在
				H26.3.31 現在	<p>(顕彰者) H24 / 1人 H25 / 0人 計 / 1人 (展示会等) H24 / 7回 H25 / 7回 計 / 14回</p>	<p>(顕彰者数) 50.0 (%) (展示会等) 93.3 (%)</p>	
	7 成果目標	平成26年度までに2名指定 (現在48人) 展示会等 15回/3年		事業結果	<p>■伝統工芸技術秀士の顕彰 伝統工芸技術秀士の顕彰者はなしとした</p> <p>■伝統工芸技術秀士のPR ・首都圏でのPR(新宿駅西口での映像放映、台東区2k540での作品展示及びパネル紹介等) ・市内でのPR(各区役所フロアでの作品展示 計4回、駿府楽市での常設展示、駿府匠宿での紹介映像通年上映)</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	<p>(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項</p>	<p>■伝統工芸技術秀士のPR事業の今後の展開 認知度向上・PRにかかる事業をどのように実施していくか、また開催する展示会をより効果的にするための展示方法やPR方法等の工夫をしていくことが重要である。</p>
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方向		<p>(事業担当) 記載事項</p>	<p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>匠宿での常設展示や実演のほか、各区役所等での企画展示、イベント等での実演をはじめ、首都圏PR事業の中での企画展示・秀士紹介DVD放映などを継続して実施しました。今後も、更に、秀士の認知度向上や宣伝に努めるよう、展示会をはじめ様々なPR方法について検討し、充実化を図ってまいります。 秀士の顕彰については、対象者の不足から未指定としました。今後も中長期的視点に立って顕彰者の選定にあたって参ります。</p>		
	基本方針						
	基本施策						
所属部会	<p>■PR促進部会 部会長 杉山委員 部会員 山梨委員、鶴田委員 ■事務担当 産業経営担当 山田主任主事</p>						
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 地場産業担当 副主幹 頭師雅之 (内線) 81-6641</p>						

事業	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成25年度		
	事業名	クラフトマンサポート事業の拡充		予算額	5,400千円	
				決算額	4,450千円	
	事業概要	伝統産業を担う人材の確保、後継者育成のため、新規就業促進のための短期現場実習、後継者育成を図る長期現場実習、ものづくりで生計を志す方への独立支援補助事業を拡充します。		取組状況	H25.9.1 現在	(1) 地域産業現場実習短期支援者数 2名 (600千円) (2) 地域産業現場実習長期支援者数 3名 (3,600千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31) (3) 地域産業独立支援補助金交付者数 1名 (1,200千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31)
						補足事項
	H26.3.31 現在	(短期支援) H24 / 3人 (短期支援) 50.0 H25 / 1人 計 / 4人 (長期支援) H24 / 2人 (長期支援) 100.0 (%) H25 / 3人 計 / 5人 (独立支援) H24 / 1人 (独立支援) 66.7 H25 / 1人 計 / 2人				
	成果目標	短期支援6人/3年、長期支援9人/3年 独立支援3人/3年(各人数は延べ) ※長期支援は期間拡充		事業結果	事業評価等	(1) 地域産業現場実習短期支援者数 1名 (300千円) (2) 地域産業現場実習長期支援者数 3名 (3,600千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31) (3) 地域産業独立支援補助金交付者数 1名 (550千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31)
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援			
		大施策	(1) 地域経済を担う多様な人材の活用と育成			
	産業振興のプラン位置付け	中施策	④高度で専門的な知識・技能をもつ人材の活用と育成			
基本方針		4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成				
基本方針		(4) 次代を担う人づくり				
事業担当課等	基本施策	②職業人としての意識・能力の涵養	改善点・目標の未達成理由等	このクラフトマンサポートについては年間15件程の問い合わせが当課にあり、大半が県外からの問い合わせですが、県外の希望者の場合、交通費や日常生活費の関係、また実施後の雇用や生活不安を説明すると、大部分の方が断念します。 そういった点から、伝統産業界の新たな人材の受け入れ環境等について、検討していく必要があります。		
	事務局	■伝統工芸創造部会 部会長 本多副会長 部会員 実石委員、杉山委員 アシスタント 二渡会長、中村委員 ■事務担当 地場産業担当 頭師副主幹				
事務局	経済局商工部 地場産業課 地場産業担当 主査 武田英世 (内線) 81-6641					

事業 9	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成25年度			
	事業名	技能検定の受験及び技能五輪への参加等に向けた支援の検討		予算額	0千円		
				決算額	0千円		
	事業概要	本市のものづくり産業の力量形成に向けて、確かな技術や技能は必須条件の一つであるため、技能検定の受験及び技能五輪大会への参加等を旨ず技術者や事業所等に対して、費用助成等の支援を検討する。		取組状況 H25.9.1 現在	<p>■静岡市内の関係団体と情報共有、連携強化に向けて協議を行う。この中で、補助の要件、申請方法、交付先などについて、詳細に検討するにあたり、静岡市における実態やニーズの把握に努める。</p> <p>■平成25年度の他都市調査結果、平成26年度ヒアリング結果を参考に、補助の要件、申請方法、交付先などについて、検討を進める。</p>		
		補足事項	進捗率		H25.9.1 現在	0 (%)	
				H26.3.31 現在	0 (%)		
	成果目標	補助金等交付要綱などの支援制度の整備		事業結果	<p>市内関係団体の支援状況について、ヒアリングを実施した。</p> <p>■静岡県職業能力開発協会 □技能検定・技能五輪に係る実態について ・市内事業者からの技能五輪全国大会の出場実績 ・技能五輪に係る中小企業のニーズ ほか 一大企業の出場が大多数で、中小企業のニーズ・大会出場はほとんどない。 ・技能検定受験は、年間7000名の受験があり、製図、CADの受験が多い。 受験料の支援に係るニーズは多い。 □技能五輪に向けた支援策について ・ものづくりマイスター制度 高度な技術を有するものづくりマイスターが、中小企業等で実技指導を行うもの。 ■静岡商工会議所 □製造現場改善支援の実態について ・中小企業のニーズとして、技術力向上に向けたニーズは少なく、技能五輪に関連するニーズはほぼない。 ・現場作業改善コース(5S)に係る支援が多い。 ・技術力向上コースでは、ロバストデザインに係るニーズが増えている。</p> <p>平成25年度の他都市調査結果、平成26年度のヒアリング結果を参考に、補助の要件、申請方法、交付先などについて、検討した。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等		
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方向		(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項				
	基本方針						
	基本施策						
所属部会	■技術者養成部会 部会長 実石委員 部会員 松永委員、内海委員 ■事務担当 地場産業担当 望月主査		(事業担当) 記載事項 改善点・目標の未達成理由等				
事業担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当 主査 望月正博 (内線) 81-6641						

事業	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成25年度			
	事業名	若手グループの商品開発支援 (ものづくり相談・支援)		予算額	1,140千円		
				決算額	848千円		
	事業概要	市内地場産業の活性化のために、デザイン、技術、経営等に関する各種講演会や指導会のほか、実技指導も含めた技術講習会の開催や、専門家による新商品開発指導など、ものづくりに対する相談を行います。		取組状況 H25.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 一閑張実技講習会の実施(計4回、参加者各9名) ■講演会の開催 BCP講演会(1回、参加者41名) 椅子技術講演会(1回、参加者13名) ■商品開発事業の開催 漆器商品開発研究会(計5回) 乾漆商品開発研究会(計12回) ■専門家派遣の実施 乾漆商品開発指導(1回、参加者12名) 家具業界向現況指導(1回、17名) 		
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在
	H26.3.31 現在	(技術講習会開催数) 4回 (講習会等開催数) 21回	(技術講習会開催数) 400.0 (講習会等開催数) 420.0	(%)			
	成果目標	技術講習会 1回/年 講習会等 5回/年 (新商品開発事業の推進等)		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 一閑張実技講習会の実施(計4回、参加者各9名) ■講演会の開催 BCP講演会(1回、参加者41名) 椅子技術講演会(1回、参加者13名) ■商品開発事業の開催 漆器商品開発研究会(計5回) 乾漆商品開発研究会(計12回) ■専門家派遣の実施 乾漆商品開発指導(1回、参加者12名) 家具業界向現況指導(1回、17名) 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	<ul style="list-style-type: none"> ■業界把握について 現在存続している若手グループは把握できているか ■事業内容について どうしても残さなければならない技術の把握を確認し、その講習会、講演会を開催した方がよい。 講習会等で技術向上・商品開発については研究されているようですが、販路開拓に関する講習会が行われていない。 	
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 〔事務担当記載項目〕 所属部会からの意見及び指摘事項 	<ul style="list-style-type: none"> ■専門家派遣による乾漆商品開発の実施 漆器の商品開発事業として著名専門家を継続的に派遣することで技術向上を促進した。 ■漆器商品流通化の実施 流通アドバイザーの継続的指導により流通化について学び東京及び地元で催事に参加し、既開発の漆器商品の流通化を模索した。 			
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	④地域・伝統産業の近代化推進					
所属部会	<ul style="list-style-type: none"> ■伝統工芸創造部会 部会長 本多副会長 部会員 実石委員、杉山委員 アシスタント 二渡会長、中村委員 ■事務担当 地場産業担当 頭師副主幹 		<ul style="list-style-type: none"> 〔事業担当記載事項〕 改善点・目標の未達成理由等 				
事業担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当 副主幹 頭師雅之 (内線) 81-6641						